

東胆振定住自立圏

共生ビジョン

(令和2年～令和6年)

令和2年4月

北海道 苫小牧市

目 次

1 定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって	
（1） 定住自立圏の概要とこれまでの取組	1
（2） 定住自立圏及び圏域を形成する市町	1
（3） 定住自立圏共生ビジョンの目的	2
（4） 定住自立圏共生ビジョンの期間	2
2 圏域の概況	
（1） 東胆振の概況	2
（2） 東胆振1市4町の概況	3
（3） 人口	5
3 平成27年度から平成31年度までの検証	7
4 圏域の将来像	8
5 協定に基づき推進する具体的取組	10

資料編

1 具体的な事業と内容	(1)
2 個別事業費一覧	(19)
3 定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿	(27)
4 定住自立圏共生ビジョン懇談会 設置要綱	(28)

1 定住自立圏共生ビジョンの策定に当たって

(1) 定住自立圏の概要とこれまでの取組

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣市町村が、それぞれの魅力をいかしながら、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取組です。

苫小牧市は、平成23年11月から、東胆振4町とともに「定住自立圏構想検討会」を設置し、定住自立圏構想の調査・研究を進め、東胆振全体での連携を目指すことを全市町で確認したことから、平成26年7月16日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行いました。

平成27年2月から3月にかけて、定住自立圏の形成に関する協定書を各市町の議会へ提案し、その議決を経て、平成27年3月24日に苫小牧市と4町との間で1対1の協定を締結し、定住自立圏を形成しました。



平成27年3月24日
定住自立圏形成協定締結式

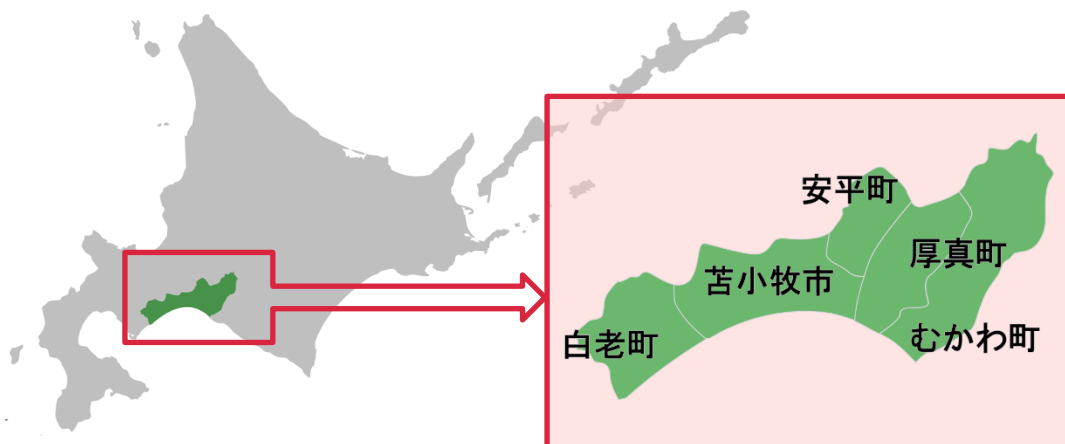
(2) 定住自立圏及び圏域を形成する市町

・定住自立圏の名称

東胆振定住自立圏

・圏域を形成する市町

苫小牧市・白老町・厚真町・安平町・むかわ町



(3) 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定により、圏域の将来像や、定住自立圏形成協定に基づき関係市町村が連携して推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

(4) 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

2 圏域の概況

(1) 東胆振の概況

東胆振は、北海道の中央南部の太平洋岸に位置し、東西約95km、南北約60km、面積約2,340km²で、北海道の総面積約83,424km²の約2.8%を占め、神奈川県とほぼ同じ面積を有しています。

また、道路、鉄道の要衝のみならず、海路は国際拠点港湾苫小牧港を抱え、空路は新千歳空港を有するなど、道内の運輸・交通の中核的役割を担うとともに、豊かな自然と第一次から第三次に至る幅広い産業基盤を有しております。

地形は、変形扇状といえる地形をなし、北東部は日高山系、北西部は支笏火山系の山岳群にはさまれた石狩低地帯南部に勇払原野が広がり、南部は太平洋に面し、東部は広漠とした平原、北部はおおむね丘陵地を形づくっています。

気候は、全般的に臨海性で、一部には海霧の発生する地域や冷涼な地域を含みますが、積雪寒冷の厳しい北海道にあっては、比較的温暖で過ごしやすい地域の一つに数えられています。道内の他地域と比較して、春の訪れは早く、安定した天候の長い秋が続いた後、積雪量の少ない冬が遅く来るなど恵まれた気象条件にあります。

東胆振の総人口は、212,059人（国勢調査：平成27年10月1日）であり、全道人口(5,381,733人)の4.0%を占めています。苫小牧市が172,737人と圏域人口の81.5%を占め、その割合は増加傾向にあります。1km²あたりの人口密度は90.6人となっており、全道の68.6人と比べ高くなっています。

(2) 東胆振1市4町の概況

〔出典〕

人口は平成27年国勢調査（H27.10.1時点）

面積は令和元年年全国都道府県市区町村別面積調(R1.7.1 時点)



苫小牧市

・人口172,737人 ・面積561.57km²



樽前山

苫小牧市は、国際拠点港湾苫小牧港と新千歳空港を有し、鉄道、国道、高速自動車道などの交通アクセスにも恵まれた、北海道を代表する物流の拠点として、産業・経済の発展に大きな役割を果たしています。

また、紙・パルプ、自動車部品、金属などの工業基地、石油備蓄基地や道内唯一の油ガス田を抱えるエネルギー基地、次代を担うリサイクル産業基地として注目を集めています。一方で、ラムサール条約登録湿地のウトナイ湖や溶岩円頂丘を持つ樽前山など、自然豊かな環境を備えています。

この豊かな自然と調和した、文化の薫り高く潤いのある快適な生活環境の中で、未来に向かって挑戦し続けるまち「人間環境都市」を目指してまちづくりを推進しています。



白老町

・人口17,740人 ・面積425.64km²



アイヌ古式舞踊

白老町は、北海道の南西部、胆振管内のほぼ中央に位置し、夏は涼しく冬は暖かい、穏やかな気候に恵まれており、まちの背景には豊かな原生林が、そして目の前には雄大な太平洋が広がる自然豊かなまちです。

まちの産業は、北海道を代表する白老牛や虎杖浜たらこ、さらに鶏卵やシイタケなど豊富な食資源を誇る農林水産業を中心に構成され、特に毎年6月1週目に開催される「白老牛肉まつり」は、道内各地から5万人もの来場

者が訪れる一大イベントとなっています。

令和2年度には民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）の開設が予定されています。ウポポイの開設を契機として、異なる民族や多様で豊かな文化の違いを認め合い、支え合う多文化共生の理念のもと「共生・共創」のまちづくりを推進していきます。



厚真町

・人口 4,838 人 ・面積 404.61 km²



実るハスカップ

厚真町は、道央圏の胆振管内東部にある町で、夕張市との境界を源流とする約50kmの厚真川が南北に貫流し、古くから稲作を中心に農業を基幹産業として発展してきました。近年は、栽培面積日本一を誇るハスカップの全国展開に向け、町をあげてブランド化に取り組んでいます。

町域には国際拠点港湾の苫小牧港東港区が位置し、北海道電力苫東厚真発電所、苫東コールセンター、国家・民間の石油備蓄基地等、物流拠点・エネルギー拠点が立地し、さらにフェリー、高規格幹線道路日高自動車道厚真IC、近接する新千歳空港等、陸・海・空の交通アクセスが充実し、今後も大きな発展が期待できる立地環境を有しています。

現在は、子育て支援や教育環境の充実、宅地分譲等により定住促進を進めており、都市と農村との交流を誘うグリーン・ツーリズム等、厚真町が持つ地の利や豊かな自然環境をいかしたまちづくりを推進しています。



安平町

・人口8,148人 ・面積237.16km²



菜の花畑

安平町は、酪農業や軽種馬産業をはじめとした第一次産業を基幹産業とした町です。アサヒメロンや畜産加工品であるカマンベールチーズなどが有名であるほか、競走馬の産地として、町内の牧場から多くの重賞勝馬を輩出しています。近年では、『菜の花』を活用した商品開発や観光振興が行われ、初夏には約100ha以上もの広大な面積に黄色い菜の花が一面に咲き誇る景色は、圧巻です。

また、産業面では、多くの見学が見込まれる日本最大級となる大規模太陽光発電所などの新エネルギー産業を誘致するなど、新千歳空港や苫小牧港との近距離性、高速自動車道や鉄道など交通の要衝という利便性をいかした企業誘致を進めています。

現在は、道の駅を拠点に町の魅力や地域ブランド価値を発信しながら、交流人口・関係人口、さらには定住人口の拡大につなげる地域活性化の取組や、子育て環境の充実を推進しています。



むかわ町は、道央圏の南方に位置し、札幌市や空の玄関である新千歳空港、海の玄関である苫小牧港にも近く、また、日高・十勝方面への交通の要衝にあります。胆振管内で最も大きい面積を有し、東・北部は日高山脈系の外縁部に囲まれ、西部は勇払原野、南部は太平洋に面し、全国でも屈指の清流度を誇る一級河川「鷓川」が南北に縦走しています。

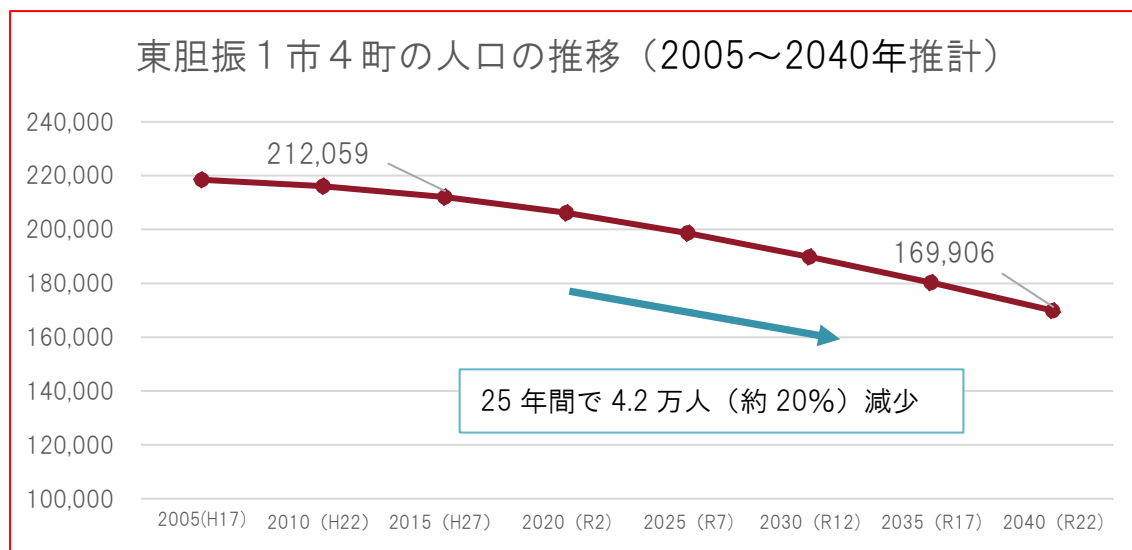
この豊かな自然環境が作り出す地域ブランド「鷓川ししゃも」「ほべつメロン」をはじめとする、品質の高い食材がたくさんあり、自然や食をいかしたイベントも四季折々で開催されます。

一方、まちづくりにおいては、未来の担い手である子育て環境の充実や産業基盤の強化、担い手対策、地域の人材育成といった重点施策を進めているほか、世界的な注目を集めている貴重な恐竜化石を活用したまちづくりにも力を入れています。

(3) 人口

ア 人口の推移

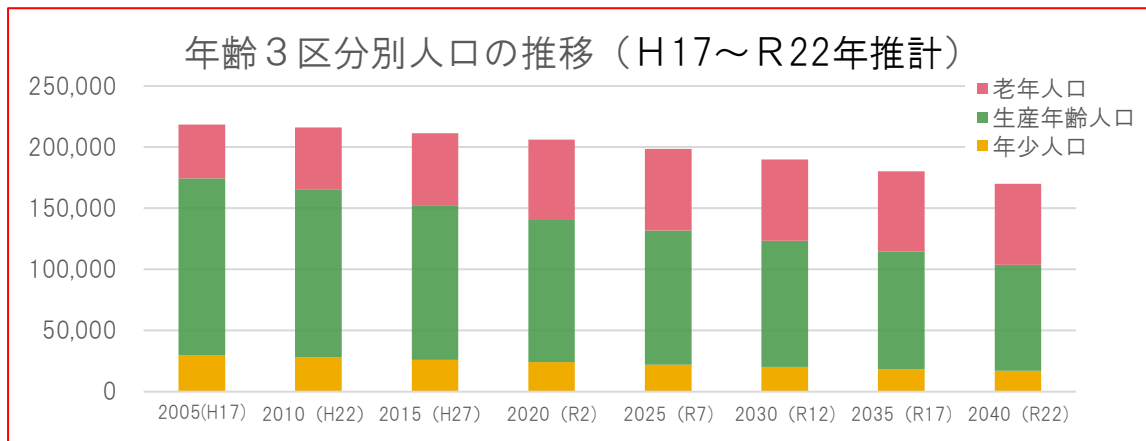
平成27年10月1日時点の東胆振の総人口は212,059人で、平成17年の218,479人と比べ2.9% (6,420人) 減少しています。また、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来人口推計(H30.3)」によれば、25年間(平成27年～令和22年) の間に約4.2万人の減少が見込まれるなど、人口減少による地域コミュニティの維持や地域経済の衰退が大きな課題となっています。



資料 国勢調査(H17、H22、H27)、
国立社会保障・人口問題研究所(H30)「日本の地域別将来人口推計」

イ 年齢3区分別人口

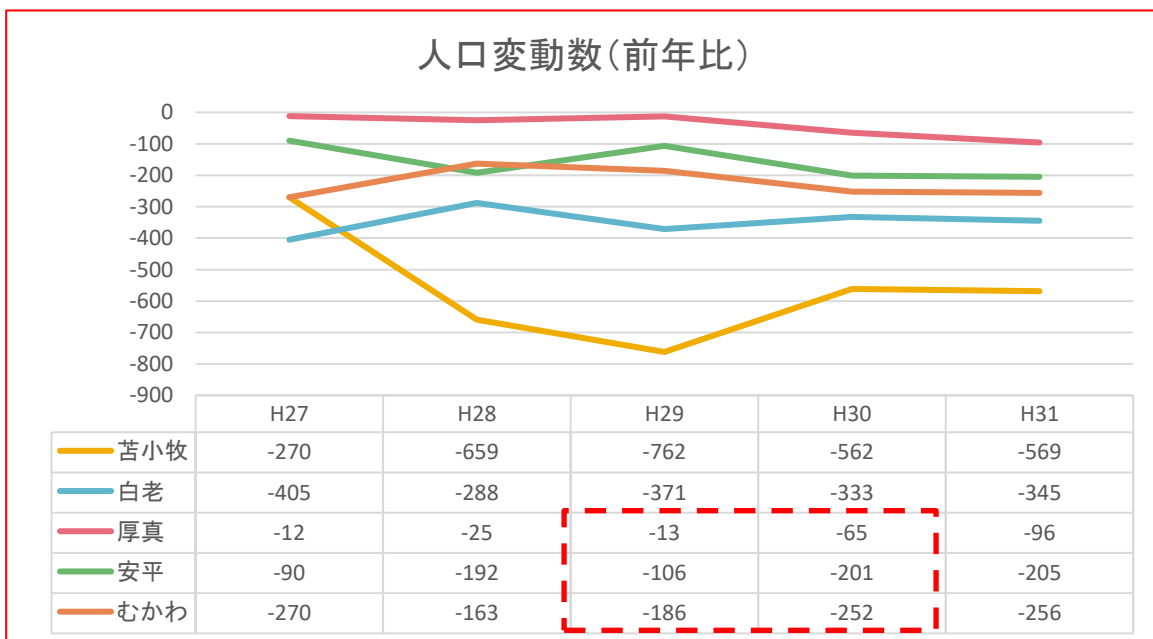
東胆振の年齢3区分別人口構成比は、平成17年以降、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が一貫して減少しているのに対し、老年人口（65歳～）は増加を続け、平成27年10月1日時点で、年少人口12.4%（26,142人）、生産年齢人口59.6%（126,368人）、老年人口28.1%（59,549人）となっています。令和22年の推計では、年少人口10.1%（17,111人）、生産年齢人口51.0%（86,648人）、老年人口38.9%（66,146人）とより一層、少子高齢化に進むことが予想されています。



資料：国勢調査(H17、H22、H27)
 国立社会保障・人口問題研究所(H30)「日本の地域別将来人口推計」

ウ 共生ビジョン策定後の人口変動

東胆振定住自立圏共生ビジョン策定後の各市町における人口は、減少傾向は避けられず、平成30年9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」の影響により、被害の大きかった厚真町、安平町、むかわ町において平成30年から平成31年にかけて減少幅が拡大しています。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査（H27.H28.H29.H30.H31）
 ※人口算出時点は各年の12月末時点

3 平成27年度から平成31年度までの検証

東胆振定住自立圏は「魅力あるポテンシャルをいかし、安心して暮らし続けられる圏域」を目指し、分野ごとに取組を進めてきました。

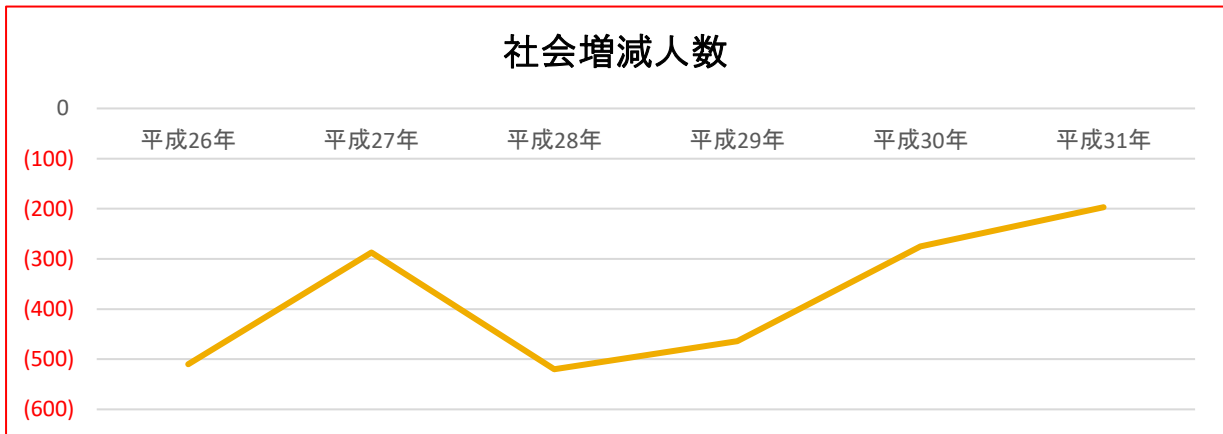
平成29年8月共生ビジョン変更時に設定した各事業における重要業績評価指数（KPI）12分野（16項目）の進捗状況は平成30年度末時点で91.0%でした。

【各分野における重要業績評価指数（KPI）の進捗状況】

医療	98.5%	福祉	92.2%	教育	93.1%
産業振興	84.8%	防災	96.6%	環境	96.7%
地域公共交通	100%	交通ネットワークの整備促進	100%	生産者と消費者との連携による地産地消	90.1%
移住・交流	66.7%	その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携	66.7%	宣言中心市等における人材育成	100%

「安心して暮らし続けられる圏域」を将来像としているため、「夜間・土曜・休日に対応可能な二次救急の輪番制医療機関数」や「地域間幹線系統数（自治体間バス）」など、増加は難しいものの、減少すると住民の生活に支障をきたす機関の“維持”を重要業績評価指数（KPI）に設定した項目が多いこともあり、進捗状況は高くなっています。

共生ビジョン策定前年の平成26年社会増減数は-510人でありましたが、協定締結及びビジョン策定後の平成27年から平成30年までの社会増減数は平均で-387人／年であり、策定以前より減少した年もありましたが、全体的に改善傾向にあります。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査（H26.H27.H28.H29.H30）
※人口算出時点は各年の12月末時点

なお、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の発生時には、共生ビジョンに基づき職員派遣等の支援を実施しました。今後も復旧・復興へ向けた更なる支援が必要となりますが、定住自立圏としての取組が最大限に機能した事例となりました。

本圏域の取組は5か年で完結するものではなく、継続して取り組むことが必要とされています。次期5か年の共生ビジョンにおいても、長期的な視点に立ち、圏域の人口減少抑制に向けて各種事業を粘り強く取り組むことにより、目指す将来像に近づけるものと捉えています。

4 圏域の将来像

当圏域（東胆振1市4町）は、昭和47年の広域市町村圏の指定を受けて以降、多くの広域連携事業に取り組んできましたが、平成27年に「東胆振定住自立圏」を形成し、中心市と連携町がそれぞれの持つ個性を尊重しながら、相互に連携・協力し、圏域全体で生活に必要な機能の充実に向けて取り組んでいます。

東胆振は、陸・海・空の良好な交通アクセスを有し、札幌圏に隣接しているといった地理的優位性を兼ね備えた地域であり、農産品・水産品をはじめとする豊富な地域資源に加えて、アイヌ文化の理解と復興の拠点となる「民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）」や国内最大の恐竜全身骨格化石「カムイサウルス・ジャポニクス（通称 むかわ竜（むかわ町穂別産）」などの貴重な文化資源、さらにはサラブレッドを目にするのできる牧場などの観光資源のほか、国際リゾートの誘致を目指すなど幅広い地域資源を有しております。

こうした潜在する資源をいかした地域の情報発信により知名度向上を図りつつ、平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興及び防災連携体制の強化、医療・地域公共交通の充実、生活・雇用情報及び移住・定住関連情報の提供なども含め、必要な生活機能を確保し、将来にわたって必要な人口を確保した上で、圏域住民が安心して暮らし続けることができる圏域を目指します。



【カムイサウルス・ジャポニクス】
（通称 むかわ竜（むかわ町穂別産））



【安平町：キハ183系(左)、D51 320号機(右)】



【厚真町：黄金色に輝く田】



【白老町：国立アイヌ民族博物館】
（提供：国土交通省北海道開発局）

医療・防災体制等の充実による「安全・安心」な生活環境の向上

地域公共交通ネットワークの強化による住民の足の確保と利便性の向上

東胆振ブランド力の強化と交流人口の拡大



3つの柱に重きを置いた施策を継続的に展開しながら、次に掲げる圏域の形成を目指します。
また、施策の推進により人口減少の抑制を目指します。

東胆振圏域が目指す将来像

魅力あるポテンシャルをいかし、
安心して暮らし続けられる圏域

【圏域人口目標】

2015(H27)年 (実績)	2019(R1)年 (速報値※)	2040(R22)年 (社人研推計)	➡	2040(R22)年 (目標)
212,059人	209,480人	169,906人		187,098人

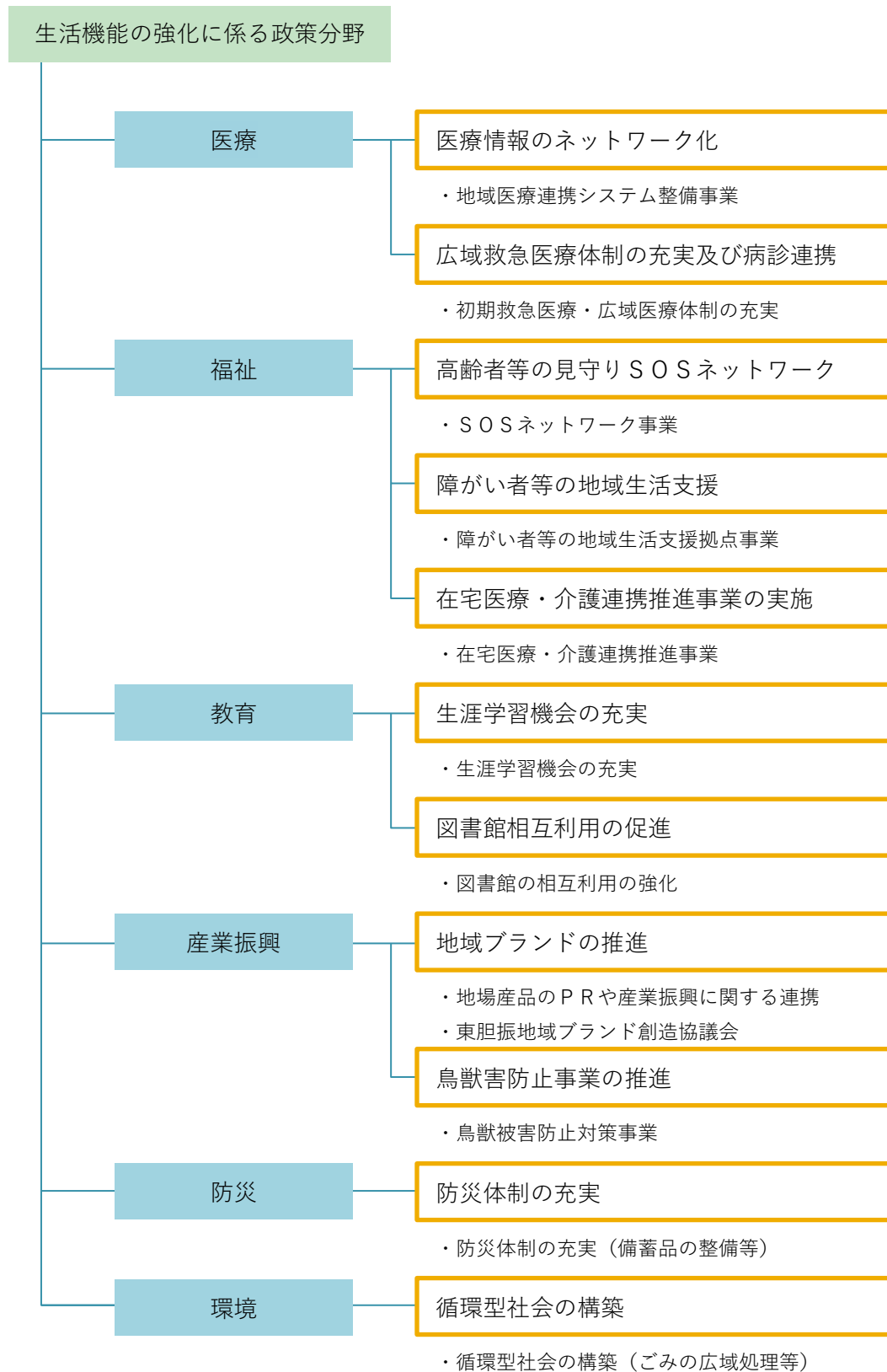
【老年人口目標（高齢化率）】

2015(H27)年 (実績)	2019(R1)年 (速報値※)	2040(R22)年 (社人研推計)	➡	2040(R22)年 (目標)
28.0%	30.6%	38.9%		34.7%

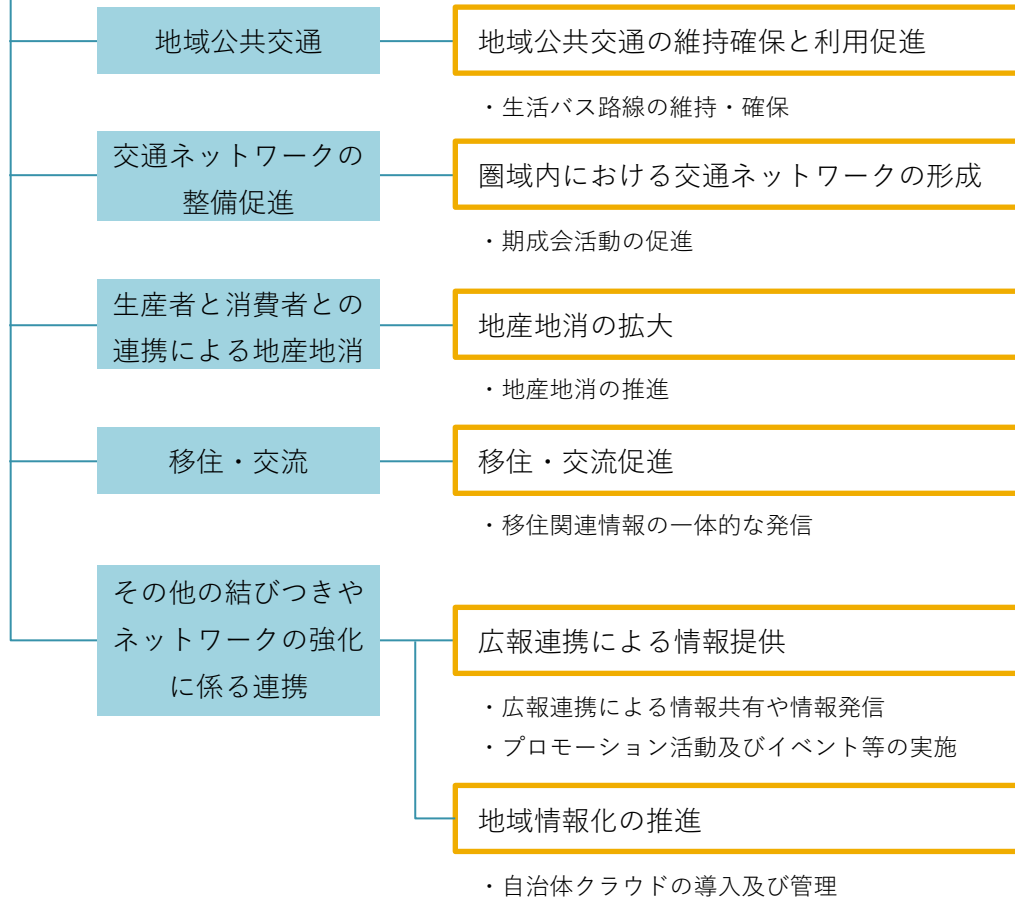
※速報値：H31.1.1時点の人口

資料：国勢調査(H17、H22、H27)、
国立社会保障・人口問題研究所(H30)「日本の地域別将来人口推計」、構成市町人口ビジョン
住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査（H31.1.1）

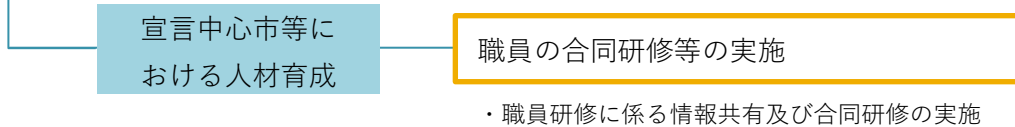
5 協定に基づき推進する具体的取組



結びつきやネットワークの強化に係る政策分野



圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野



資料編 1 具体的な事業と内容

I 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

① 医療情報のネットワーク化

協定の内容	(取組の内容) 圏域内における診療情報を医療機関間で共有し、圏域の医療体制の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における地域医療連携のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における地域医療連携のための各種事業に取り組む。

事業名	地域医療連携システム整備事業					関係市町
事業概要	東胆振地域における医療機関等がインターネット上で診療情報を共有して緊密な連携を行い、よりよい医療を提供できる医療体制の推進を図る。					全市町
効果	診療情報を共有することにより、地域全体の医療の質の向上が期待される。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	1,056	1,056	1,056	1,056	1,056	5,280
補助事業等の名称等	道央圏地域医療再生計画事業費（診療情報共有ネットワーク構築事業）補助金					
役割分担の考え方	苫小牧市がシステム整備に必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	
	登録医療機関数		32か所 (令和元年)		33か所 (令和6年)	

② 広域救急医療体制の充実及び病診連携

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内における初期救急医療機能や広域医療体制の維持・充実に努める。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における初期救急医療機能や広域救急医療体制の充実のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における初期救急医療機能や広域救急医療体制の充実に向けて取り組む。

事業名	初期救急医療・広域医療体制の充実					関係市町
事業概要	休日又は夜間における第一次救急医療体制の確保及び住民に対する救急医療知識の普及啓蒙、広域救急医療及び小児救急医療を行う。					全市町
効果	圏域内の初期救急医療体制や広域救急医療体制の維持・確保が図られるほか、救急医療の啓発により、地域医療の救急体制についての認識が生まれ、適正な利用が期待できる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	125,146	125,203	123,874	125,203	125,203	625,958
補助事業等の 名称等	小児救急医療支援事業費補助金					
役割分担の 考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	夜間・土曜・休日 に対応可能な二次 救急の輪番制医療 機関数	2 医療機関 (令和元年)		2 医療機関 (令和6年)		

イ 福祉

① 高齢者等の見守りSOSネットワーク

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の関係機関のネットワークを活用し、高齢者等の行方不明者の速やかな保護に繋げる。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、見守りSOSネットワーク事業を推進するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、見守りSOSネットワーク事業を推進するなど、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

事業名	SOSネットワーク事業					関係市町
事業概要	・徘徊等により所在不明となった高齢者等の搜索と保護 ・本人及び家族等への支援並びに再発防止のための連絡・調整					全市町
効果	高齢者の行方不明時に、警察だけでなく地域の協力団体等が搜索に協力し、速やかな行方不明者の保護に繋がる					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	547	547	547	547	547	2,735
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	事業の周知回数	46回 (令和元年)		92回 (令和6年)		

② 障がい者等の地域生活支援

協定の 内容	(取組の内容) 障がい者等の地域生活支援の機能を強化するため、地域生活支援拠点を整備・運営する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙から委託を受けて地域生活支援拠点を整備・運営するとともに、乙がその実施状況を把握し、適切な評価を行うことができるよう情報の提供を行う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲に地域生活支援拠点の整備・運営を委託するとともに、その実施状況を把握し、評価を行う。

事業名	障がい者等の地域生活支援拠点事業					関係市町
事業概要	障がい者等の地域生活支援の機能を強化するため、地域生活支援拠点を整備・運営する。					全市町
効果	圏域内における社会的資源を共有することで、障がい者等が必要とする情報や安定したサービスの提供が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	7,978	7,978	7,978	7,978	7,978	39,890
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	相談件数	16,685件 (令和元年)		17,000件 (令和6年)		

③ 在宅医療・介護連携推進事業

協定の内容	(取組の内容) 住み慣れた地域での生活を支えるため、地域の医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的なサービス提供体制を構築・強化することを支援する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における在宅医療・介護連携のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における在宅医療・介護連携のための各種事業に取り組む。

事業名	在宅医療・介護連携推進事業					関係市町
事業概要	地域の医療・介護関係者等から相談等を受け、連携調整等による支援を行う窓口の設置・運営及び圏域内の相談窓口間の連携体制の構築。					全市町
効果	圏域内の医療・介護機関等からの連携に対する相談窓口を設置することで、医療・介護関係者等が必要とする多職種間の有機的連携が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	27,200	27,200	27,200	27,200	27,200	136,000
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	相談窓口の設置数	5件 (令和元年)		5件 (令和6年)		

ウ 教育

① 生涯学習機会の充実

協定の内容	(取組の内容) 圏域住民の生涯学習を推進するため、生涯学習機会の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、各圏域の生涯学習施設に関する情報共有を行い、住民への周知に努めるなど、生涯学習機会の充実に取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、各圏域の生涯学習施設に関する情報共有を行い、住民への周知に努めるなど、生涯学習機会の充実に取り組む。

事業名	生涯学習機会の充実、圏域内文化の共有					関係市町
事業概要	圏域市町が持つ生涯学習施設等の効率的な利用を促進するため、公の施設の適正な維持管理・運営事業を行い、生涯学習機会の充実を図る。					全市町
効果	公の施設の適正な維持管理や運営事業など、施設の相互利用の推進によって、公の施設の有効活用と生涯学習機会の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	131,508	121,434	121,434	121,434	121,583	617,393
補助事業等の名称等	過疎地域等自立活性化推進交付金など					
役割分担の考え方	施設の維持管理・運営事業については、各自治体が行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年度)	
	生涯学習関連 講座開設数		765講座 (令和元年)		813講座 (令和6年)	

② 図書館相互利用の促進

協定の 内容	(取組の内容) 図書館(室)の広域利用を促進するため、図書館(室)相互の連携を強化する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域住民の図書館利用を促進するとともに、図書の充実や蔵書情報の提供など中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域住民の図書館(室)利用を促進するとともに、図書の充実や蔵書情報の提供に努める。

事業名	図書館(室)の相互連携の強化					関係市町
事業概要	図書館(室)の広域利用を促進するとともに、図書館(室)における図書資料の充実や環境を整備し、図書サービスの充実・向上を図る。					全市町
効果	他市町村との図書館広域利用が可能となり、図書館利用に係る住民の利便性が向上するとともに、行政コストの低減が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	11,674	11,234	11,234	11,234	11,234	56,610
補助事業等の 名称等						
役割分担の 考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)		目標値(達成年度)		
	4町在住者への延べ貸出人数(苫小牧市中央図書館)	2,114人 (令和元年)		2,145人 (令和6年)		

エ 産業振興

① 地域ブランドの推進

協定の 内容	(取組の内容) 様々な地域資源を活用し、地域全体の活性化を図り、地域ブランドを推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、地域ブランドの創出・発信を行うため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、地域ブランドの創出・発信を行う。

事業名	地場産品のPRや産業振興に関する連携					関係市町
事業概要	PR活動やふるさと納税制度において圏域内で共通の返礼品を取り扱うことで、地場産品の圏域外への販路拡大を図る。					全市町
効果	地域イメージの向上が付加価値となり、販路拡大のための地域ブランド化が促進される。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	31,875	28,437	30,437	28,437	28,437	147,623
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

事業名	東胆振地域ブランド創造協議会					関係市町
事業概要	東胆振地域ブランド推進計画に基づく施策を促進し、観光振興を通じて東胆振全体の活性化に資する。					全市町
効果	地域全体のブランド力を創出・発信することにより、苫小牧市から各町への回遊性の向上、さらには札幌圏などの大都市圏から当該地域へ入り込む交流人口の拡大に繋がる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	目標値(達成年度)
	地域ブランドの合同PR回数	4回/年 (令和元年)	4回/年 (令和6年)

② 鳥獣害防止事業の推進

協定の内容	(取組の内容) 鳥獣による農業被害の軽減に向け、鳥獣害防止事業を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域全体の被害の軽減を図る。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域全体の被害の軽減を図る。

事業名	鳥獣被害防止対策事業					関係市町
事業概要	鳥獣による農林業への被害防止を図るため、鳥獣被害防止対策を推進する。					全市町
効果	有害鳥獣による被害状況や被害防止対策等に係る情報共有などの連携によって未然防止が期待される。さらに圏域の基幹産業である農林業に対する被害防止が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	29,941	29,915	29,915	29,915	29,915	149,601
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	情報交換回数	0回 (令和元年)		5回 (令和6年)		

オ 防災

① 防災体制の充実

協定の 内容	(取組の内容) 災害時の応援体制の構築を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実を図る。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、災害時における相互応援体制の検討を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、災害時における相互応援体制の検討を進めるとともに、自主防災組織の育成など、防災体制の充実に取り組む。

事業名	防災体制の充実					関係市町
事業概要	災害に備え、各市町村における防災体制の充実を図るとともに、災害時広域相互応援に関する協定に基づき災害備蓄品の提供など相互応援を行う。 復旧・復興へ向けた職員の派遣などの支援を行う。					全市町
効果	市町単独では対応できない大規模災害に対して、相互応援により、被害を最小限に食い止めることができるなど圏域全体の防災力の向上が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	17,504	16,789	16,599	16,614	16,095	83,601
補助事業等の 名称等	地域づくり総合交付金					
役割分担の 考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	圏域内会議等及び 訓練回数		4回/年 (令和元年)		25回 (累計) (令和6年)	

カ 環境

① 循環型社会の構築

協定の内容	(取組の内容) ごみの適正排出やリサイクルを推進し、循環型社会の構築を図るとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、一般廃棄物の広域処理を推進する。
	(乙の役割・厚真町・安平町) 甲と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図るほか、一般廃棄物の広域処理を推進する。
	(乙の役割・白老町・むかわ町) 甲と連携し、ごみの適正排出等について、住民への意識啓発を行うとともに、再生可能エネルギーの導入促進を図る。

事業名	循環型社会の構築						関係市町
事業概要	一般廃棄物の広域分担処理等の推進により、廃棄物の安定的かつ効率的な処理を維持・確保する。 圏域内における太陽光などの再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入を促進する。						全市町
効果	廃棄物処理施設を広域化することにより、経済性の向上と効率的な維持管理が可能となる。 地域資源を活用した再生可能なエネルギーの導入や、省エネ化を進めることにより、圏域における温室効果ガスの削減が図られる						
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計	
	1,384,058	1,361,093	1,315,894	1,304,779	1,303,524	6,669,358	
補助事業等の名称等							
役割分担の考え方	(一般廃棄物広域処理部分) 苫小牧市：一般廃棄物の処理にかかる施設の運営経費を負担する 厚真町・安平町：行政事務組合が処理費用として負担する (その他) 各市町が必要な経費を負担する。						
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	家庭ごみの排出量		42966 t (令和元年)		39818 t (令和6年)		

II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

① 地域公共交通の維持確保と利用促進

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について調査・検証するとともに、各種輸送機関との相互連携により、地域公共交通の確保に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域内の公共交通手段の維持・利用促進を図るとともに、効率的で利便性の高い公共交通システムの構築に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域内公共交通手段の維持・確保等に取り組む。

事業名	生活バス路線の維持・確保					関係市町
事業概要	乗合バス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。					全市町
効果	バス路線の維持・確保により、中心市である本市の医療機関や、商業施設といった都市機能を広域的に利用することができる。 圏域住民の移動手段の確保が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	289,098	316,047	312,006	312,006	312,006	1,541,163
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	地域間幹線系統数 (自治体間運行バス)		5系統 (令和元年)		5系統 (令和6年)	

イ 交通ネットワークの整備促進

① 圏域内における交通ネットワークの形成

協定の内容	(取組の内容) 圏域内における効率的な交通ネットワーク形成に向け、交通インフラ整備促進のための各種事業に取り組む。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域市町を結ぶ国道・道道などの幹線道路網の整備促進に向けて、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域の効率的な交通ネットワークの形成に向けて取り組む。

事業名	期成会活動の促進					関係市町
事業概要	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のための期成会活動を促進する。					全市町
効果	期成会活動の活発化により、圏域内の交通インフラ等の整備促進に繋がる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	1,078	1,078	1,078	1,078	1,191	5,390
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	国への合同要望回数	3回/年 (令和元年)		3回/年 (令和6年)		

ウ 生産者と消費者との連携による地産地消

① 地産地消の拡大

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内の地場産品等の消費を拡大するため、相互に連携し、地産地消を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内の地場産品等の情報発信を行うなど、地産地消の拡大に向けて取り組む。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲や関係機関と連携し、圏域内の地場産品等の情報発信を行うなど、地産地消の拡大に向けて取り組む。

事業名	地産地消の推進					関係市町
事業概要	圏域の地産地消に関するイベントや生産者の情報を消費者に提供するとともに、連携してイベントなどを実施する。					全市町
効果	消費者と生産者の交流促進や食の安全・安心、消費拡大につながり、地産地消の推進が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	10,500
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	個別事業の売上金額		1,244万円 (令和元年)		1,281万円 (令和6年)	

エ 移住・交流

① 移住・交流促進

協定の内容	(取組の内容) 圏域の移住関連情報を発信し、移住・交流を促進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、ホームページ等を活用した圏域の地域資源をはじめとする魅力や移住・交流関連情報を発信する。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域の地域資源をはじめとする魅力や移住・交流関連情報を発信する。

事業名	移住関連情報の一体的な発信					関係市町
事業概要	地域の様々な魅力をはじめ、暮らしや住まいに関する情報やイベント情報などの移住・交流関連情報を発信する。					全市町
効果	交流人口の拡大と圏域内への定住促進が期待される。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	91,805	99,154	91,654	77,614	77,614	437,841
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	情報発信数	2回 (令和元年)		25回 (令和6年)		

オ その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携

① 広報連携による情報提供

協定の内容	(取組の内容) 圏域内の情報を共有し、相互に発信するほか、行政区の枠組みを越えた広域連携による情報発信を行う。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙と連携し、圏域内の情報を共有・発信するほか、ホームページ等を活用したイベント情報の共有を図る。また、広域連携によるプロモーション等の情報発信を推進するにあたり、中心的な役割を担う。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲と連携し、圏域内の情報を共有・発信するほか、ホームページ等を活用したイベント情報の共有を図る。また、広域連携によるプロモーション等の情報発信を推進する。

事業名	広報連携による情報共有や情報発信					関係市町
事業概要	圏域内の情報の共有化を図るとともに、圏域外の住民に圏域の魅力を積極的に発信する。					全市町
効果	情報の到達範囲を広げるとともに、地域の一体感を醸成し、広報効果を高める。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	190	190	190	190	190	950
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	インターネットを活用した情報発信回数	-		30回		
		(令和元年)		(令和6年)		

② 地域情報化の推進

協定の内容	(取組の内容) 圏域内における、各自治体の情報化を推進する。
	(甲の役割・苫小牧市) 乙や関係機関と連携し、圏域内における自治体クラウド導入及び管理のため中心的な役割を担う。
	(乙の役割・厚真町) 甲や関係機関と連携し、圏域内における自治体クラウド導入及び管理のため各種事業に取り組む。

事業名	自治体クラウドの導入及び管理					関係市町
事業概要	圏域内における自治体クラウドの導入を進め、適正な管理を実施する					厚真町
効果	圏域内の費用軽減や情報セキュリティの厳重化、災害等緊急時の業務継続性が確保される					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	127,343	143,716	143,716	143,716	168,831	727,322
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)		
	共同利用による削減額	-		調整中		
		(令和元年)		(令和6年)		

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 宣言中心市等における人材育成

① 職員の合同研修等の実施

協定の 内容	(取組の内容) 圏域内市町職員の資質向上や人的ネットワーク及び政策課題への対応力を高めるため、合同研修会の開催等により職員の能力向上や職員間の交流に繋げる。
	(甲の役割・苫小牧市) 甲が実施する職員研修に関する情報を乙に提供し、乙の職員の参加機会を設ける。
	(乙の役割・白老町・厚真町・安平町・むかわ町) 甲が実施する職員研修に職員を派遣するとともに、必要な協力を行う。

事業名	職員研修に係る情報共有及び合同研修の実施					関係市町
事業概要	圏域全体で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市町職員の資質向上を図るための合同研修を実施する。					全市町
効果	合同で研修を行うことにより、圏域の職員間交流が促進され、効果的に職員の能力と資質の向上が図られる。					
事業費 (千円)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
	10,382	10,382	10,382	10,382	10,382	51,910
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時点)		目標値 (達成年度)	
	合同研修開催回数		8回/年 (令和元年)		10回/年 (令和6年)	

資料編 2 個別事業費一覧

(千円)

地域医療連携システム整備事業

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
地域医療連携システム整備事業	苫小牧市	1,056	1,056	1,056	1,056	1,056	5,280
合計		1,056	1,056	1,056	1,056	1,056	5,280

初期救急医療・広域医療体制の充実

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
二次救急医療運営費補助金	苫小牧市	27,738	27,738	27,738	27,738	27,738	138,690
救急医療啓発普及経費	苫小牧市	4,131	4,131	4,131	4,131	4,131	20,655
小児救急医療支援事業	苫小牧市	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	35,750
北海道消防防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金	苫小牧市	2,044	2,044	2,044	2,044	2,044	10,220
夜間・急病センターの管理運営に要する経費	苫小牧市	63,802	63,802	63,802	63,802	63,802	319,010
二次救急医療運営費補助金	白老町	2,745	2,745	2,745	2,745	2,745	13,725
救急医療啓発普及費	白老町	383	383	383	383	383	1,915
小児救急医療支援事業	白老町	141	141	141	141	141	705
北海道消防防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金	白老町	322	322	322	322	322	1,610
二次救急医療対策事業運営費負担金	厚真町	748	748	748	748	748	3,740
救急医療啓発普及事業	厚真町	104	104	104	104	104	520
小児救急医療支援事業	厚真町	50	50	50	50	50	250
消防防災ヘリ負担金	厚真町	169	169	169	169	169	845
地域医療医師確保支援補助金	厚真町	2,343	2,400	2,400	2,400	2,400	11,943
広域救急（二次救急）医療対策事業	安平町	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	6,300
救急医療啓発普及事業	安平町	176	176	176	176	176	880
小児救急医療支援事業	安平町	84	84	84	84	84	420
消防防災ヘリ負担金	安平町	219	219	219	219	219	1,095
休日夜間地域医療体制確保助成金事業	安平町	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	48,500
二次救急医療等対策事業運営費負担金	むかわ町	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	6,650
救急医療啓発普及経費	むかわ町	185	185	185	185	185	925
小児救急医療等対策事業運営費負担金	むかわ町	80	80	80	80	80	400
消防防災ヘリ負担金	むかわ町	242	242	242	242	242	1,210
合計		125,146	125,203	123,874	125,203	125,203	625,958

SOSネットワーク事業

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
苫小牧市認知症高齢者等の見守りSOSネットワーク事業	苫小牧市	454	454	454	454	454	2,270
地域見守りネットワーク事業	白老町	0	0	0	0	0	0
厚真町あんしんネットワーク事業	厚真町	0	0	0	0	0	0
安平町SOSネットワーク事業	安平町	93	93	93	93	93	465
東胆振SOSネットワーク	むかわ町	0	0	0	0	0	0
合計		547	547	547	547	547	2,735

障がい者等の地域生活支援拠点事業

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
地域生活支援拠点事業	苫小牧市	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000
地域生活支援拠点負担金	白老町	801	801	801	801	801	4,005
東胆振圏域地域生活支援拠点事業	厚真町	310	310	310	310	310	1,550
東胆振圏域障害者地域生活支援拠点設置協議会負担金	安平町	420	420	420	420	420	2,100
東胆振1市4町地域生活支援拠点整備負担金	むかわ町	447	447	447	447	447	2,235
合計		7,978	7,978	7,978	7,978	7,978	39,890

在宅医療・介護連携推進事業

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
在宅医療・介護連携事業費	苫小牧市	23,549	23,549	23,549	23,549	23,549	117,745
在宅医療・介護連携事業費	白老町	90	90	90	90	90	450
在宅医療・介護連携事業費	厚真町	1,055	1,055	1,055	1,055	1,055	5,275
在宅医療・介護連携推進事業	安平町	646	646	646	646	646	3,230
在宅医療・介護連携推進事業	むかわ町	1,860	1,860	1,860	1,860	1,860	9,300
合計		27,200	27,200	27,200	27,200	27,200	136,000

生涯学習機会の充実

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
科学学習活動経費	苫小牧市	4,601	4,601	4,601	4,601	4,601	23,005
美術博物館企画展示事業費	苫小牧市	5,087	5,000	5,000	5,000	5,000	25,087
美術博物館特別展事業費	苫小牧市	4,605	4,500	4,500	4,500	4,500	22,605
文化芸術振興事業	苫小牧市	15,335	15,335	15,335	15,335	15,335	76,675
アイヌ文化を学ぶふるさと学習事業	白老町	848	848	848	848	848	4,240
資料館特別展、企画展開催事業	白老町	51	100	100	100	249	600
民族共生象徴空間活性化事業	白老町	11,867	11,000	11,000	11,000	11,000	55,867
イオル再生事業	白老町	18,037	18,000	18,000	18,000	18,000	90,037
アイヌ文化保存・伝承・発展活動推進事業	白老町	15,055	15,000	15,000	15,000	15,000	75,055
ウポポイ開設ロングランイベント	白老町	8,972	-	-	-	-	8,972
文化財啓蒙普及活動	厚真町	0	0	0	0	0	0
鉄道資料館管理経費	安平町	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	6,650
博物館等管理運営事業	むかわ町	45,720	45,720	45,720	45,720	45,720	228,600
合計		131,508	121,434	121,434	121,434	121,583	617,393

図書館（室）の相互連携の強化

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
図書館コンピュータシステム事業	苫小牧市	10,510	10,070	10,070	10,070	10,070	50,790
図書館システム保守経費	白老町	165	165	165	165	165	825
図書管理システム運用事業	厚真町	152	152	152	152	152	760
図書システム運用事業	安平町	132	132	132	132	132	660
図書館システム管理運営経費	むかわ町	715	715	715	715	715	3,575
合計		11,674	11,234	11,234	11,234	11,234	56,610

地場産品のPRや産業振興に関する連携

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
苫小牧産農水産物プロモーション事業	苫小牧市	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	5,500
胆振太平洋海域漁業振興協議会負担金	苫小牧市	447	447	447	447	447	2,235
農業・畜産・酪農収益力強化対策事業	苫小牧市	3,101	3,101	3,101	3,101	3,101	15,505
胆振管内ししやも漁業振興協議会負担金	苫小牧市	428	428	428	428	428	2,140
マツカワ種苗放流事業補助金	白老町	625	625	625	625	625	3,125
さっぽろオータムフェスト出展	白老町	332	332	332	332	332	1,660
観光イベント支援事業	厚真町	13,731	13,797	15,797	13,797	13,797	70,919
胆振管内シシヤモ漁業振興協議会負担金	厚真町	687	687	687	687	687	3,435
マツカワ種苗放流事業負担金	厚真町	417	417	417	417	417	2,085
ハスカップ地域ブランド化総合推進事業	厚真町	5,404	1,900	1,900	1,900	1,900	13,004
地域ブランド化推進支援事業助成金	安平町	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
アサヒメロンブランド継承事業	安平町	300	300	300	300	300	1,500
マツカワ種苗放流事業負担金	むかわ町	417	417	417	417	417	2,085
胆振管内ししやも漁業振興協議会負担金	むかわ町	1,886	1,886	1,886	1,886	1,886	9,430
合計		31,875	28,437	30,437	28,437	28,437	147,623

東胆振地域ブランド創造協議会

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	苫小牧市	1,631	1,631	1,631	1,631	1,631	8,155
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	白老町	167	167	167	167	167	835
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	厚真町	45	45	45	45	45	225
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	安平町	76	76	76	76	76	380
東胆振地域ブランド創造協議会負担金	むかわ町	81	81	81	81	81	405
合計		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000

鳥獣被害防止対策事業

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
アライグマ捕獲事業	苫小牧市	6,886	6,886	6,886	6,886	6,886	34,430
苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助事業	苫小牧市	4,970	4,970	4,970	4,970	4,970	24,850
有害昆虫・鳥獣駆除対策事業	白老町	1,895	1,895	1,895	1,895	1,895	9,475
鳥獣被害防止総合対策事業	白老町	750	750	750	750	750	3,750
エゾシカ被害防止対策事業	厚真町	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500
クマ対策事業	厚真町	1,001	931	931	931	931	4,725
野生鳥獣対策事業	厚真町	1,656	1,700	1,700	1,700	1,700	8,456
鳥獣被害防止総合対策事業経費	安平町	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	9,865
鳥獣被害防止対策協議会補助	むかわ町	200	200	200	200	200	1,000
鳥獣対策事業	むかわ町	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	40,550
合計		29,941	29,915	29,915	29,915	29,915	149,601

防災体制の充実

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
防災備蓄品整備事業	苫小牧市	3,830	3,830	3,830	3,830	3,830	19,150
樽前山火山防災会議協議会負担金	苫小牧市	24	24	24	24	24	120
白老町防災対策推進事業	白老町	3,823	3,127	2,932	2,932	2,932	15,746
樽前山火山防災会議協議会負担金	白老町	24	24	24	24	24	120
防災訓練事業	白老町	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130	5,650
樽前山火山防災協議会負担金	厚真町	24	24	24	24	24	120
樽前山火山防災会議協議会負担金	安平町	24	24	24	24	24	120
防災体制整備事業	安平町	518	499	504	519	-	2,040
自主防災活動推進事業	むかわ町	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
防災体制推進事業	むかわ町	5,083	5,083	5,083	5,083	5,083	25,415
樽前山火山防災会議協議会負担金	むかわ町	24	24	24	24	24	120
合計		17,504	16,789	16,599	16,614	16,095	83,601

循環型社会の構築

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
沼ノ端クリーンセンター管理運営経費	苫小牧市	484,314	484,314	484,314	484,314	484,314	2,421,570
沼ノ端クリーンセンター整備事業費	苫小牧市	222,327	222,327	222,327	222,327	222,327	1,111,635
資源物中間処理事業	苫小牧市	214,286	214,286	214,286	214,286	214,286	1,071,430
埋立処分場管理運営経費	苫小牧市	22,006	22,006	22,006	22,006	22,006	110,030
資源リサイクル運動推進事業費	苫小牧市	201,882	201,882	201,882	201,882	201,882	1,009,410
清掃統計処理システム事業費	苫小牧市	1,218	1,218	1,218	1,218	1,218	6,090
清掃施設ダイオキシン類測定分析業務経費	苫小牧市	2,662	2,662	2,662	2,662	2,662	13,310
合併処理浄化槽設置整備事業費	苫小牧市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
住宅用新・省エネルギーシステム補助事業	苫小牧市	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000
浄化槽設置整備事業	白老町	5,659	9,520	9,520	0	0	24,699
安平・厚真行政事務組合負担金 (一般廃棄物処理負担金)	厚真町	79,021	79,021	79,021	79,021	79,021	395,105
安全・安心省エネ住宅推進事業	厚真町	62,700	47,700	2,700	2,700	2,700	118,500
浄化市町村整備推進事業	厚真町	37,024	23,122	23,122	23,122	23,122	129,512
ごみの広域処理事業	安平町	32,645	34,731	34,522	32,927	31,672	166,497
合併処理浄化槽設置整備事業	安平町	4,410	4,410	4,410	4,410	4,410	22,050
合併処理浄化槽設置整備事業	むかわ町	5,404	5,404	5,404	5,404	5,404	27,020
合計		1,384,058	1,361,093	1,315,894	1,304,779	1,303,524	6,669,358

生活バス路線の維持・確保

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
苫小牧市公共交通協議会負担金	苫小牧市	668	668	668	668	668	3,340
公共交通路線維持費補助事業	苫小牧市	60,691	60,691	60,691	60,691	60,691	303,455
樽前予約運行型バス運行事業	苫小牧市	9,590	9,590	9,590	9,590	9,590	47,950
生活交通確保維持推進事業	白老町	40,971	69,820	69,820	69,820	69,820	320,251
地域公共交通対策事業	厚真町	54,200	52,300	48,259	48,259	48,259	251,277
デマンド交通運行事業補助金	安平町	13,848	13,848	13,848	13,848	13,848	69,240
循環バス運行事業	安平町	21,153	21,153	21,153	21,153	21,153	105,765
JR室蘭線活性化連絡協議会負担金	安平町	50	50	50	50	50	250
町営バス等運行事業	むかわ町	87,827	87,827	87,827	87,827	87,827	439,135
むかわ町地域公共交通活性化協議会負担金	むかわ町	100	100	100	100	100	500
合計		289,098	316,047	312,006	312,006	312,006	1,541,163

期成会活動の促進

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
苫小牧地方総合開発期成会負担金	苫小牧市	563	563	563	563	563	2,815
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	苫小牧市	54	54	54	54	54	270
苫小牧地方総合開発期成会負担金	白老町	103	103	103	103	103	515
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	白老町	12	12	12	12	12	60
苫小牧地方総合開発期成会負担金	厚真町	56	56	56	56	56	280
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	厚真町	53	53	53	53	53	265
苫小牧地方総合開発期成会負担金	安平町	78	78	78	78	78	390
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	安平町	12	12	12	12	12	60
苫小牧地方総合開発期成会負担金	むかわ町	94	94	94	94	94	470
高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会負担金	むかわ町	53	53	53	53	53	265
合計		1,078	1,078	1,078	1,078	1,191	5,390

地産地消の拡大

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい補助	苫小牧市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
東胆振物産まつり補助	苫小牧市	680	680	680	680	680	3,400
苫小牧市地元農畜水産物消費拡大事業	苫小牧市	100	100	100	100	100	500
東胆振物産まつり補助	白老町	80	80	80	80	80	400
東胆振物産まつり補助	厚真町	80	80	80	80	80	400
東胆振物産まつり負担金	安平町	80	80	80	80	80	400
特産物振興対策事業	むかわ町	80	80	80	80	80	400
合計		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	10,500

移住関連情報の一体的な発信

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
移住関連情報発信	苫小牧市	377	377	377	377	377	1,885
移住・定住促進事業	白老町	1,737	1,737	1,737	1,737	1,737	8,685
移住定住促進賃貸住宅家賃支援事業	白老町	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
Uターン新規就業者移住支援事業	白老町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
情報発信事業	厚真町	5,000	12,500	5,000	5,000	5,000	32,500
定住化促進対策事業	厚真町	35,300	35,300	35,300	21,260	21,260	148,420
定住促進事業	安平町	9,700	10,000	10,000	10,000	10,000	49,700
定住促進事業（移住促進PR事業）	安平町	2,641	2,190	2,190	2,190	2,190	11,401
移住定住促進事業	むかわ町	50	50	50	50	50	250
移住定住促進事業（助成事業）	むかわ町	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	165,000
合計		91,805	99,154	91,654	77,614	77,614	437,841

広報連携による情報共有や情報発信

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	苫小牧市	150	150	150	150	150	750
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	白老町	10	10	10	10	10	50
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	厚真町	10	10	10	10	10	50
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	安平町	10	10	10	10	10	50
北海道新幹線×nittan地域戦略会議活動事業費	むかわ町	10	10	10	10	10	50
合計		190	190	190	190	190	950

自治体クラウドの導入及び管理

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
総合行政システム事業費	苫小牧市	121,885	121,885	121,885	121,885	147,000	634,540
総合行政システム事業費	厚真町	5,458	21,831	21,831	21,831	21,831	92,782
合計		127,343	143,716	143,716	143,716	168,831	727,322

職員研修に係る情報共有及び合同研修の実施

事業名	事業主体	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	総事業費
職員研修経費	苫小牧市	4,060	4,060	4,060	4,060	4,060	20,300
職員研修経費	白老町	0	0	0	0	0	0
職員研修経費	厚真町	3,688	3,688	3,688	3,688	3,688	18,440
職員研修経費	安平町	0	0	0	0	0	0
職員研修経費	むかわ町	2,634	2,634	2,634	2,634	2,634	13,170
合計		10,382	10,382	10,382	10,382	10,382	51,910

資料編 3 定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿

令和元年7月2日現在

	関連分野	氏名	所属等	市町名
1	学識委員	清水 祐一	苫小牧工業高等専門学校創造工学科	苫小牧
2	医療	笠原 健太郎	(一社) 苫小牧市医師会	苫小牧
3	福祉	塚原 光博	白老町民生委員児童委員協議会	白老
4	福祉	加藤 務	(福) むかわ町社会福祉協議会	むかわ
5	教育	小坂 幸司	(株) 小坂農園	むかわ
6	産業振興	千葉 勝宏	(一社) 白老観光協会	白老
7	防災	櫻井 裕子	胆振東部消防組合厚真消防団	厚真
8	環境	丹羽 智久	(株) 白老清掃	白老
9	地域公共交通・交通ネットワーク	木村 徹也	室蘭地区バス協会	苫小牧
10	地域公共交通・交通ネットワーク	吉田 章	あつまバス(株)	厚真
11	生産者と消費者との連携による地産地消	内藤 圭子	NPO法人 ココ・カラ	安平
12	生産者と消費者との連携による地産地消	荒館 康治	(一社) むかわ町観光協会	むかわ
13	移住交流	高津 均	(一社) あびら観光協会	安平
14	その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携	大宮 丈治	(株) オーティス	苫小牧
15	公募委員	田中 弘美		苫小牧
16	公募委員	高坂 美哉		苫小牧
17	公募委員	小林 裕子		苫小牧

(敬称略)

(設置)

第1条 東胆振における定住自立圏の形成に関する協定（以下「協定」という。）により形成された圏域全体を対象として、圏域の将来像や協定に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定に関して、関係者等の意見を反映させるため、定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、ビジョンの策定又は変更について審議する。

(組織)

第3条 懇談会は20人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公募に応じた者
- (2) 協定に関連する分野の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から翌年度末日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

(関係者の出席等)

第7条 懇談会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年7月16日から施行する。

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

東胆振定住自立圏共生ビジョン

令和2年4月1日策定

苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6039

FAX 0144-34-7110
